

## 8 消防費

### 1 消防費 1 常備消防費

[担当：消防本部 総務課] P. 363

0501 消防総務事務に要する経費 24,520,169 円 (24,983,799 円)

[その他 312,220 円 一財 24,207,949 円]

\* 特財内訳

[手数料：危険物許認可手数料 311,900 円]

[手数料：コピー手数料 320 円]

#### ○ 目的

各種災害や住民ニーズに的確かつ効果的に対応するため、消防行政事務の円滑な推進を図る。

#### ○ 内容

各種災害の被害を軽減するため、防火衣及び AED リース並びに災害対応用資機材等を更新し、消防サービスの向上に努めた。

- ・自動体外式除細動器リース料 2,364,780 円

市内の公共施設、小・中学校、コンビニエンスストアなどに 104 台を設置した。

- ・防火衣リース料 6,478,164 円

消防活動のため、152 着を消防職員に貸与した。

- ・消防用備品 2,931,648 円

水難救助資機材、ガス検知器、空気呼吸器、訓練人形を整備した。

#### ○ 効果

消防行政事務の適正な執行と併せて、効率的な消防活動を展開することができた。

[担当：消防本部 総務課] P. 365

2201 消防庁舎の管理運営に要する経費 59,710,295 円 (28,074,204 円)

〈3,773,000 円〉※〈 〉は、うち 6 年度繰越分

[地方債：30,900,000 円 〈3,700,000 円〉 その他 438,000 円 〈73,000 円〉]

一財 28,372,295 円]

\* 特財内訳

[市債：緊急防災・減災事業債 27,280,000 円×100%≒27,200,000 円]

[市債：緊急防災・減災事業債 〈3,773,000 円×100%≒3,700,000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈73,000 円〉]

[諸収入：いばらき消防指令センター基地局電気使用料 365,000 円]

#### ○ 目的

防災の拠点施設である消防庁舎の整備及び適正な管理運営を図る。

○ 内容

消防庁舎施設の修繕及び工事並びに庁舎設備の維持管理のため各種業務委託を行った。

- ・戸頭消防署非常用発電機改修工事实施設計業務委託 〈3,773,000 円〉
- ・戸頭消防署非常用発電機改修工事 27,280,000 円

○ 効果

令和 6 年度から実施してきた戸頭消防署非常用発電機改修事業が完了し、停電時の対応体制の確保が図られた。また、各種点検業務委託等により、庁舎をはじめ各設備を適正に維持管理する体制が整い、防災拠点施設としての機能が確保されるとともに、職場環境の充実が図られた。

〔担当：消防本部 総務課〕 P.369

3401 いばらき消防指令センターに要する経費 41,648,564 円 (38,699,164 円)

〔地方債 7,800,000 円 その他 765,524 円 一財 33,083,040 円〕

＊ 特財内訳

〔市債：防災対策事業債 7,268,000 円×90%≒6,500,000 円〕

〔市債：緊急防災・減災事業債 1,391,000 円×100%≒1,300,000 円〕

〔諸収入：いばらき消防指令センター設備保険料受入金 5,524 円〕

〔諸収入：デジタル基盤改革支援補助金 760,000 円〕

○ 目的

県内 22 消防本部 (41 市町村) が共同運用する消防指令管制業務により、業務の効率化を推進するとともに、各消防本部の連携及び情報共有を可能とすることで、隣接地域や大規模災害時における相互応援体制の充実強化を図る。

○ 内容

いばらき消防指令センターの維持管理に必要な負担金である。また、令和 6 年度から令和 7 年度にかけて AVM (車両動態表示) の更新を行うとともに、令和 8 年度から令和 10 年度に予定している通信指令システム及び救急デジタル無線システムの大規模改修に向けた実施設計を行った。

|                |              |
|----------------|--------------|
| 取手市分負担金        | 41,491,240 円 |
| うち AVM 更新事業負担金 | 7,367,000 円  |
| 通信指令設備更新負担金    | 1,391,000 円  |

○ 効果

近年の大規模災害の頻発により消防防災力の強化が求められている状況の中、災害情報の一元化による迅速で的確な災害対応の実現及び高機能な通信システムによる消防業務の高度化が図られた。

## 1 消防費 2 救急業務費

〔担当：消防本部 警防課〕 P. 371

### 0501 救急業務に要する経費 8,849,011 円（8,183,549 円）

〔一財 8,849,011 円〕

#### ○ 目的

救急需要の増加及び救急業務の高度化に対応するため、救急資器材及び医薬材料等の適正な供給や維持管理を図る。また、救急隊員の感染防止のため、消耗品の確保や予防接種を実施する。

#### ○ 内容

救急活動に必要な感染防止衣等の消耗品、アドレナリンやブドウ糖等の医薬材料及び救急資器材を購入した。

#### ○ 効果

救急事案に対して救急資器材及び医薬材料等を有効に活用し、傷病者を迅速かつ安全に医療機関へ搬送することができた。また、救急隊員の二次感染防止が図られた。

## 1 消防費 3 非常備消防費

〔担当：消防本部 総務課〕 P. 373

### 2001 消防団員に要する経費 43,793,370 円（43,814,303 円）

〔その他 9,638,015 円 一財 34,155,355 円〕

#### \* 特財内訳

〔諸収入：消防団員退職報償金受入金 9,605,000 円〕

〔諸収入：消防団福祉共済返戻金 33,015 円〕

#### ○ 目的

消防団員の処遇及び福利厚生の充実を図る。

#### ○ 内容

消防団員の報酬をはじめ、消防団員退職報償金及び消防団員等公務災害補償共済負担金等の各種負担金と被服の貸与である。

消防団員の定数 552 人 実数 470 人（令和 8 年 3 月 31 日現在）

#### ○ 効果

消防団の諸活動をはじめ、地域における自主活動にも積極的に参加する等、消防団員の地域に密着した活動が更に定着した。

〔担当：消防本部 総務課〕 P. 373

### 2101 消防団の運営に関する経費 65,139,077 円（41,841,483 円）

〔国・県 550,000 円 地方債 43,500,000 円 その他 7,844,532 円

一財 13,244,545 円〕

#### \* 特財内訳

〔国補：消防団設備整備費補助金 550,000 円〕

[市債：消防防災設備整備事業債 45,860,000 円  $\times 1/2 \times 100\% \rightleftharpoons 22,900,000$  円]

[市債：消防防災設備整備事業債

(45,860,000 円  $- 22,900,000$  円)  $\times 90\% \rightleftharpoons 20,600,000$  円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,569,000 円]

[繰入金：地域振興基金繰入金 4,170,000 円]

[諸収入：消防団施設光熱水費使用料 105,532 円]

#### ○ 目的

消防団の充実した運営と消防団施設等の整備及び適正な維持管理を図る。

#### ○ 内容

消防団運営の維持、活性化及び活動能力向上のため、第2分団（取手1・2丁目（上町））及び第21分団（小文間（南・中妻・西方））の消防ポンプ自動車を更新した。また、地域防災力の充実強化及び発災時の早期対応のため、市内全域5方面隊に各2台ずつチェーンソーを配備した。

・消防ポンプ自動車 45,859,740 円

・消防団用チェーンソー一式 1,760,000 円

#### ○ 効果

消防団車両等の更新整備により、消防団活動環境の向上及び地域防災力の強化が図られた。

### 1 消防費 4 消防施設費

[担当：消防本部 警防課] P.375

2201 消防施設の整備に要する経費 51,900,000 円 (184,115,920 円)

[国・県 17,113,000 円 地方債 31,300,000 円 その他 3,487,000 円]

#### \* 特財内訳

[国補：緊急消防援助隊設備整備費補助金 17,113,000 円]

[市債：消防防災設備整備事業債

(51,900,000 円  $- 17,113,000$  円)  $\times 90\% \rightleftharpoons 31,300,000$  円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,487,000 円]

#### ○ 目的

災害対応特殊救急自動車への更新により、消防力の充実強化を図る。

#### ○ 内容

吉田消防署に配備されていた平成27年式救急自動車を更新した。

吉田消防署 災害対応特殊救急自動車 51,900,000 円

#### ○ 効果

最新の資機材を搭載した災害対応特殊救急自動車に更新することにより、救急体制及び消防力の充実強化を図ることができた。